



篠山鳳鳴同窓会報

発行日 2025年7月

発行所 篠山鳳鳴同窓会

兵庫県丹波篠山市大熊369

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校内

TEL(079)554-2533

発行責任者 中西 薫



「下町ロケット」のモデルとなった植松努氏による講演会&ロケット教室

皆様からのご支援のおかげで、講演会を開催する事ができました。ご協力ありがとうございました。



伝統校が在校生と共に輝く時

篠山鳳鳴同窓会長

中西 薫 (高30回)

篠山鳳鳴同窓会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じ、心よりお慶び申し上げます。また、平素より同窓会活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

高30回生の私ですが、この4月、高80回生の入学式に臨席し、半世紀が経った今日の心境を、感慨を込めながら祝辞を述べさせていただきました。その中で、「本校は県内で最も歴史ある公立高校であるが、皆さんの力で新しい風を吹かせてほしい。同窓会の願いは一つ、母校の発展である。」との思いを申し上げました。

来年令和8(2026)年には高81回生、いよいよ150番目の入学生を迎える事となります。と同時に、本学は創立150年となるのです。この3月には記念事業実行委員会を発足し、「創立150周年記念式典」および150周年記念会員大会「鳳鳴のつどい」を、令和8(2026)年11月14日(土)と決めました。

さらに、同日行われる記念講演会は室谷正裕先生(高26回生、元国土交通省官僚、北総鉄道株式会社代表取締役会長)をお願いいたすこととなりました。詳細内容につきましては、「同窓会ホームページ」を通じて随時ご報告させていただきますと思います。記念式典当日には、在校生と共に多くの同窓生にご参加いただき、大きな節目を祝うことができると祈念しています。

在校生の公募発案による記念のロゴマークも美しく完成し、生徒会により素晴らしいスローガン「150年の軌跡を未来へ～鳳鳴生の挑戦が新たな時代を築く～」が提案されました。これらを旗印として、「伝統校が在校生と共に輝く時」となるよう邁進したいと考えています。

最後になりましたが、本年度、新校長として西田利也先生が着任され、教育現場の先生方と共に学校改革、学校環境の充実に尽力されています。「STEAM探究科」を中心に、分野横断的学びを育む最新制度の導入、令和7年4月入学生より単位制となり、学生、PTA、保護者の方々も一丸となって進められています。未来を開く鳳鳴高校の姿に、大変心強く感じているところです。同窓会といたしましても、全面的に学校の取り組みを応援してまいりたいと考えていますので、どうか皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

篠山鳳鳴高等学校長

西田利也 (高35回)



県立篠山鳳鳴高等学校同窓会の皆様、はじめまして。創立149年の歴史と伝統のある本校に着任させていただいたことは、この上ない喜びを感じるとともに、その重責に身の引き締まる思いです。微力ではございますが、教職員とともに、時代の流れ、世界の流れを的確に捉えつつ、すべての生徒が成長するために、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆様には、本校教育活動の充実のために、様々な形でのご支援を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、同窓生の皆様には今の鳳鳴はどのように映っていますか。学校は現在、1学年4クラス、全校生徒数が388名の規模です。私が本校で数学教員をしていた30年前は、1学年8クラスだったのでちょうど半分の生徒数です。皆さんの「鳳鳴」と比べても様子が違うと感じられるかもわかりません。生徒の様子を見てみると、例えば、今は6月の文化祭準備に取り組んでいますが、良い文化祭にするために一人一人の生徒が主体的に活発に活動しています。また朝の登校時でも明るくあいさつする生徒が多く、始業ギリギリに鳳鳴坂を駆け上がってくる生徒はほとんど見かけません。昼時は校舎外のベンチやスタンドで楽しく食事している様子などから、私の高校時代、教員時代と比べても生徒の明るさや素直さに変わりはなく、さらに言うところ昔よりも高校生活を楽しくしている生徒が多いように見受けられ、本質は何も変わっていないと感じています。

一方で違いもあります。それは鳳鳴の教育です。不確実で混沌とした時代に生きていく生徒たちに必要な力は、簡単に言うと知識を覚える力ではなく知識を活用する力です。さらには、個別にあるものを組み合わせるなどして、新しい価値を創造する力が求められます。このような力は教科の学習だけでは限界があり、教科の枠を超えテーマを設定して問題解決策を考えていく活動が必要になります。そのためには我々教員も新たな指導方法を身につけなければなりません。さらには、学びを社会問題に広げるにあたっては、地域や企業、大学、専門機関など、教員とは違う方々の力が必要になります。つまり新たな鳳鳴を作り出すためには同窓生の皆様のお力が必要となります。改めまして、これまで以上に母校へ関わっていただきますようお願い申し上げます。

また、令和8年度には本校は県下のどの県立高校より早く創立150年を迎えます。この機会を通じて未来の鳳鳴高校のありようを内外に示していきたいと思っています。

最後に、鳳鳴が生徒の新たな可能性を伸ばす場となりますよう努めてまいりますので、同窓生の皆様には、引き続き温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

阪神支部

阪神支部総会のご案内

支部長
永井哲郎(高19回)

阪神支部は、来年6月7日(日曜日)第24回の大会を予定しています。

鳳鳴高校の150周年記念式典の開催日に先立つ形で恐縮ですが、昨年の大会を上回る参加者で盛大に行います。

阪神間にお住まいの方は下記に記載の年次幹事の方に参加の旨お伝え願います。

年次幹事がない年次の方は恐縮ですが、支部長か副支部長にご連絡ください。

幹事一覧

- 7回生 近藤恵子さん 原千恵子さん
- 9回生 西本治子さん
- 12回生 中川利幸さん
- 13回生 渡辺克宏さん 清水貞次さん
- 14回生 小田俊朗さん
- 15回生 高見信夫さん
- 16回生 高家正和さん
- 17回生 福西敏昭さん 安井十郎さん

- 18回生 大西正文さん
- 19回生 小島敬子さん 森崎恵子さん
永井哲郎(支部長)
- 20回生 藤村てるみさん
- 21回生 辻 床治さん
- 22回生 小泉昌子さん
- 26回生 酒井欣也さん(副支部長)
- 27回生 村上明功さん
- 28回生 田口哲司さん
- 29回生 阪西智美さん
- 30回生 奥田 格さん
- 32回生 石塚俊幸さん
- 37回生 大西淳仁さん(副支部長)
- 41回生 坂本なおみさん

なお、年次幹事の不在の23回生から25回生までと31回生、33回生から36回生まで、さらに38回生から40回生まで、および42回生以降の方で、幹事を引き受けようとの気持ちのある方は、支部長までご一報ください。

メールアドレスはtetsunaga9845@yahoo.co.jp
携帯は090-2492-5915

洛鳳会

洛鳳会の活動報告

代表幹事
松浦昌宏(高30回)

洛鳳会は、篠山鳳鳴高校出身の方を中心として、京都や滋賀にお仕事やお住いの拠点を持たれている方々が集う会です。現在は、西垣吉春さん(高17回)を会長として活動を続けています。

洛鳳会の活動のご報告としては、2025年1月25日(土)午前11時30分から京都駅前の京都新阪急ホテルにて新年会を開催し、約20名の会員の方が出席されました。新年を迎えて皆さんお元気な姿で参加され、旧年のご厚情の御礼や新年の抱負など、和気藹々とした会となりました。二次会を同ホテルの地下で用意していたのですが、ほぼ全ての方がご参加いただき、一次会に引き続き親交を深めました。

今年度は2年に一度の洛鳳会総会を実施する年であり、詳細は別途ご案内を差し上げますが、この場をお借りして事前の予告をさせていただきます。総会は京都開催が恒例でしたが、今年度の総会は京滋の「滋」である滋賀県での開催を予定しております。ご存知のように、滋賀県は自然豊かで風光明媚な琵琶湖を有しており、湖岸の絶



景を堪能する地での開催を計画しております。滋賀県や琵琶湖にまつわる講演も予定しておりますので、会員以外の方でも、是非、皆様お誘い合せの上、ご参加いただけると幸いです。

今後も皆様に喜んでいただけるような活動を続けてまいりますので、ご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします。

第23回 洛鳳会総会のご案内

日時: 2025年9月13日(土) 11:00~14:00(受付:10:30から)

- 次第: 1. 総会
2. 講演 講師: 畑中章良氏(高30回)
(MIHO MUSEUM 学芸部長)

3. 会食(懇親会)
会場: 琵琶湖ホテル
(<https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/biwakohotel/>)
住所: 〒520-0041 滋賀県大津市浜町 22-40
電話: 077-524-7111 (代)

会費: 12,000円
代表幹事: 連絡先
松浦 昌宏 電話: 090-8756-4630
メール: m-mtsr18@jcom.zaq.ne.jp



パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村

ユートピアささやま

- 宿泊 ○ CAMP&VILLAGE
- 宴会 ○ 研修 ○ 日帰り入浴

〒669-2356

兵庫県丹波篠山市矢代231-1

TEL 079-552-5222

<https://unitopia-sasayama.pgu.or.jp>



丹波新聞

丹波篠山の今を伝える



丹波新聞

検索

株式会社 丹波新聞社

丹波篠山支局 兵庫県丹波篠山市大沢2-6-3

TEL.079-506-4338 FAX.079-506-1612

本社 兵庫県丹波市柏原町柏原201-1

↑ご購入はコチラから

丹波市支部

「黒井城甲冑隊」 塚本文則さん

臼井 学(高25回)

丹波市支部のコーナーに登場願うのは、高校25回生(昭和48年卒)の塚本文則さんです。

塚本さんは、国指定史跡、黒井城跡のふもとに住み、地域住民らで作る黒井城跡地域活性化委員会で活動している。委員会活動のなかで、特に力を入れているのが、「黒井城甲冑隊」。丹波市のほか、丹波篠山市、京都府福知山市や亀岡市まで出かけ、イベントに参加している。武者行列などに着る甲冑は、厚紙で手づくりしており、修理を頼まれば、気軽に引き受けている。甲冑はイベントなどでは大人気。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映以来、黒井城跡や春日局出生地として知られる興禅寺への観光客は年々増えており、出番も多くなった。

お父さんの節次(さだつぐ)さんらが立ち上げた保月会(ほげつかい)で作った甲冑が身近にあったことから興味を抱いた。今や「甲冑と言えば塚本さん」と言われるくらいの地域の有名人。地域の歴史にも詳

しいが、「高校時代に一番興味があったのは日本史より世界史で、以来海外への憧れが強くなり、若い時からちょくちょく出かけていたが、古希になっても年に3、4回は日本を脱出しています」と笑う。帰ると日本の良さをしみじみ感じ、「甲冑を着たくなるんですよね」とはにかむ。アジアが多く、なかでも韓国は20回を数える。甲冑を身につけて歩くと重く感じる。でも、テニス三昧の生活で、体力には自信がある。近隣のシニアの大会で優勝経験もあり、こちららはまっている。刀とラケットを交互に持ち替え、第二の人生を謳歌している。高校時代のクラブは物理部。「アマチュア無線での交信が楽しかった。今も出会うとその話で盛り上がるんです」と話す。



▲手づくりの兜を手にする塚本さん



▲亀岡光秀まつりに出陣した黒井城甲冑隊 左から4人目が塚本さん 右隣が筆者

【学校創立150周年】 篠山鳳鳴同窓会関東支部のつどい

日時：令和7年10月26日(日)
会場：東京都杉並区大宮八幡宮清涼殿

小暑の候 篠山鳳鳴高校同窓会の皆様におかれましては ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。

一昨年にコロナ禍を経て4年ぶりに開催した篠山鳳鳴同窓会関東支部のつどいから早や2年が経ち今年も10月に同窓会のつどいを開催します。

開催に向けて役員・幹事会では、多くの同窓生が集い、参加して良かったと思える同窓会のつどいにしたいと考え議論を重ねております。昨今の少子高齢化や多様な考え方の進行などの社会の変化を



踏まえ、同窓会の在り方、つどいの意義、目的など建設的な意見を交わしております。目先に囚われず将来に向かって組織力を向上し、持続的に母校篠山鳳鳴高校に貢献できる同窓会関東支部を目指してこれからも議論を重ねて参ります。

【お願い】

首都圏(東京・神奈川・埼玉・千葉等)に在住同窓の皆さん、この機会に、未登録の方は篠山鳳鳴同窓会関東支部にメンバー登録をしてください。登録後は自動的に鳳鳴同窓会関東支部の会員となります(年会費無料)。

住所	〒		
氏名			
回数	回生	卒業年度	
e-mail			

下記事務局あてに、メールを送信ください。
篠山鳳鳴同窓会 関東支部
会計幹事 河南裕彦(高22)
Mail:
hiroyoshi.kan10@gmail.com

関東支部

関東支部つどいの 開催について

事務局次長
堀口敦実(高32回)

ちよつと待って！捨てないで！！

資源ごみ 買い取りなら

おまかせ コミナミに ください！！

株式会社 コミナミ 丹波篠山市南新町218
●定休日/土・日・祝日

各種鋼材販売 鉄筋工事 廃棄物収集運搬 小南 嵐・小南 稔彦

TEL(079)552-5373 FAX(079)552-1920 受付時間/8:00~17:00

丹波ささやま ホロニアホテル

兵庫県丹波篠山市中野76-4 FAX(079)594-2612
☎(079)594-2611(代) http://www.holonpia.com

ごちそう家 牛舎 牛舎

FAMILY DINING PARA PARA SINCE 1988

おとて

茶房&アートショップ 花ぶどう

魚菜 旬えはら

「復活の集い」開催報告

代表幹事 垣内敬造(高32回)

令和7年1月3日、ユニットピアささやまにて、高32回生同窓会「復活の集い」を開催しました。参加者は恩師2名を含む73名。これまで5年ごとに開催していた同窓会も、コロナ禍などの影響で長らく中断され、今回は実に10年ぶりの再会となりました。

会のタイトル「復活の集い」には、5年ごとの開催を改めて復活させようという思いと、多くの仲間が定年を迎え新たな人生を歩み始める中で、友情もまた復活させようという願いが込められています。幹事チームの皆さんの協力を支えられ、準備から当日までスムーズに進行することができました。宴席では、再会を喜ぶ声と笑顔があふれ、時間が短く感じるほどでした。

最後には、次回幹事を決めるため、今回初めて「じゃんけん」を試みたところ、なんと私が敗れて次回幹事の有力候補に。思わぬ展開に会場は大いに沸き、楽しい会を締め



くくる出来事となりました。こうして再開された同窓のつながりが、これからも温かく続いていくことを願っています。

篠山鳳鳴高校75回生同窓会

磯貝咲良(高75回)

私たち75回生は、成人するにあたり「20歳のお祝い同窓会支援事業」のサポートを受け、令和7年1月11日にユニットピアささやまにて同窓会を開催しました。



二十歳のつどいの前日の開催にも関わらず、多くの同級生が参加してくれました。学年の先生方も揃って出席して下さい、お祝いの言葉をいただいたり、当時の事を懐かしんだ話で盛り上がりしました。

同窓会は2時間ほどの短い時間でしたが、卒業以来会っていなかった友達と久しぶりに顔を合わせたり、思い出話に夢中になりました。まるで高校時代に戻ったかのような温かい気持ちになり、本当に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、同窓会開催までの運営では堂本くんを始め、たくさんの方々のおかげで無事素晴らしい会にすることが出来ました。至らない部分もあったと思いますが、本当にありがとうございました。

篠山鳳鳴高校で皆さんと出会い、かけがえない仲間を見つけられたことは私たちの人生において大きな財産です。

また皆さんと出会えることを楽しみにしています！

~Something Red~ 「3回目の成人式」

福西寿美子(高35回)

卒業してから42年。私たち第35回生も人生の節目と言われる「還暦」を迎える年となりました。

第2の人生の門出をみんなでお祝いしようということで地元にいる幹事10数名が集まり企画。令和7年1月3日79名が出席。受付では還暦祝い写真コーナーを設けるなど始まる前からお楽しみ。オープニングは幹事団の「校歌」の四部合唱（実は何度も練習のためにマジメに集まりました！）高校2年の時にワラワ市から交換留学で来ていたマーク・カーチス君も出席してくれ、一瞬のうちに当時の高校生にみんな戻っています。1年から3年までのクラスごとに席をシャッフルしたり、鳳鳴クイズ、思い出のアルバムではコメントをはさみながら。なんとと言っても卒業30年の時に結成したAKB48のパフォーマンスチームが♪会いたかった〜♪を今回も熱演。12年経た今の方がパワーアップしていて、会場みんなに元気を届けてくれました。二次会にはほとんどの方が参加、最後はみんなで肩を組んでサライと鳳鳴校歌を大合唱。仲間のつながりを実感しました。その後は3次会、4次会まで弾んだ方も。次回の集

まりは8年後、卒業50年記念です。幹事団のみんなもそれぞれの持ち場で「あ・うん」の呼吸で役割分担し企画を進めましたが、何より企画段階からみんな楽しんでいました…。35回生はLINEで東京会のメンバーも含め85名となり更にこの繋がりを広めています。いつまでもこのつながりを大切に素敵に年を重ね、8年後元気でおいでできることを楽しみにしています。

35回生は丹波篠山国際博を盛り上げようと、今年の夏のデカンショ祭りには「鳳鳴35回」とプラカードを掲げ、競演会や総踊りに参加しますので、是非みなさん一緒に踊りましょう！



繋がれ！私たちの合言葉

源 浩貴(高31回)

昭和54年卒業の高31回生の同窓会を令和7年1月4日にユニトピアささやまにて開催。

私たちの合言葉「オリンピックの次の年のお正月には篠山で」の言葉通り、30周年の集まりから4年ごとに同窓会を開催し続けていました。私たちが還暦を迎えた東京オリンピックの年にも同窓会の計画を進めていたが、新型コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言が発令された為、やむを得ず無期限の延期となりました。その後、さらに4年が経ち、パリオリ



ピックの翌年となる本年1月に、3名の恩師をお招きし60名の級友が集い、高31回生同窓会をようやく開催することができました。

「今どうしているねん?」「元気やったか?」など第一声が飛び交った後は「今、山登りを楽しんでる。今度一緒に行こう」「毎週ゴルフに行ってる。今度いこうや」「孫がかわいいんや。ちょっと写真見て」など各々の趣味や家族の話、更には健康の話などに花が咲き、あっという間の2時間が経ちました。まだまだ話し足りないということで、2次会をうべらで行い、盛会の内に同窓会を終えることができました。そして私たちの合言葉は今後も引き継がれていき、4年後のお正月は皆で篠山に集まり、これからも楽しみたいと考えています。

追伸

その後、ライングループを作り31回生ゴルフ大会を企画。これからどんどん人を増やし親睦を深めていきたいと考えています。

愛しきわが篠山鳳鳴高等学校

西田正志(高27回)

高校卒業50周年を記念して同窓会を令和6年11月23日、ユニトピアささやまで実施しました。前回開催から20年が経過し、高齢者の仲間入りをしようとしているわれわ



れ高27回生です。前回100名近い参加を得ましたが、今回、多く集まっていただけか心配をしておりましたが、なんと115名もの参加を得て盛大に実施することができました。

当日は中庭での記念撮影から、ホールに会場を移し、当時は振り返る写真スライドショー・校歌斉唱と懐かしく愛校心に満ちあふれた一時となりました。フィナーレは「鳳鳴ノー工節」いわゆる鳳鳴健児でした。それぞれに肩を組み合い大声で叫んだ一時は我々の青春そのものでした。

開催にともない母校への寄付も募り、僅かではありますが、同窓会にお預けさせていただきました。最後に同級生の物故者が少しずつ増えるなか、高27回生のご健勝と母校篠山鳳鳴高等学校の益々の発展をお祈り申し上げます。

篠山鳳鳴高等学校 26回生の同窓会

石田万寿夫(高26回)

卒後25周年を記念して第1回同窓会を平成11年1月にユニトピアささやまで開催しました。参加者163名でした。その後、5年毎に開催してきました。時には、3年でしたこともありましたが、歳が行くので3年毎にするようになりましたが、コロナ禍で今回は前回より5年あきましたが、無事に卒後50周年を昨年7月14日に開催できました。参加者は80名あまりでしたが、話が御馳走で6時間ほど楽しい一時を過ごしました。同窓会に寄せられたメッセージを紹介すると、自分は何組だったか忘れまして。今回は参加できませんが、趣味三昧で忙しいです。70歳まで働く予定です。健康第一をより感じております。と、多くの感想を頂きました。私も同窓会のお手伝いをして26年が過ぎてしまいました。いつも皆様に感謝しています。気持ちは今でも18歳のままです。あの時言い出せなかった事を伝えたい気持ちです。次回同窓会を楽しみに元気に過ごしたいと思っています。

来年創立150周年記念講演に私たち26回生の室谷正裕さんが予定されています。東大卒、運輸省(現国土交通省)に勤め、18年から北総鉄道(千葉県)社長を専任されています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



「あの頃」と「今」の交差点

火置達磨(高47回)

同窓会を振り返ると、喜びを深く感じることができました。最初に会を計画したとき、過去の思い出を共有し、仲間とのつなぎ直しをできる場を作りたいという思いが強くなりました。実際に同窓会が開かれると、みんなの顔を見ることで、当時の学校生活が一瞬で蘇り、今でも繋がりに続けていることに感動しました。

この会で、私たちがどれほど多くのことを経験し、成長してきたかを再確認する素晴らしい機会でした。昔と変わらず、笑い合ったり、懐かしい話をしたりすることで、自然と仲間との絆が深まっていきました。これまでそれぞれが歩んできた道を知り、互いに尊重し合いながら現在の自分たちを祝うことができたことが私たちは嬉しかったです。

同時に、今後の未来についても語り合い、これからの人生における支え合いや、また集まることへの期待を込めて話が弾みました。過去の思い出や現在の自分たちを大切にしつつ、これからも関わり続けることができるような未来を描けたことは、この同窓会が単なる一度きりの会ではな



く、仲間同士の絆をより強くするための第一歩だと感じました。

私たちは、仲間・恩師と再会し、過去・現在・未来と一緒に語ることで、人生における大切なことを再認識できたことに感謝しています。これからも、こうした繋がりを大切に、次回同窓会がさらに素晴らしいものになるよう努めていきたいと思っています。

創立150周年のスローガンとロゴマークができました

スローガン 150年の軌跡を未来へ～鳳鳴生の挑戦が新たな時代を築く～



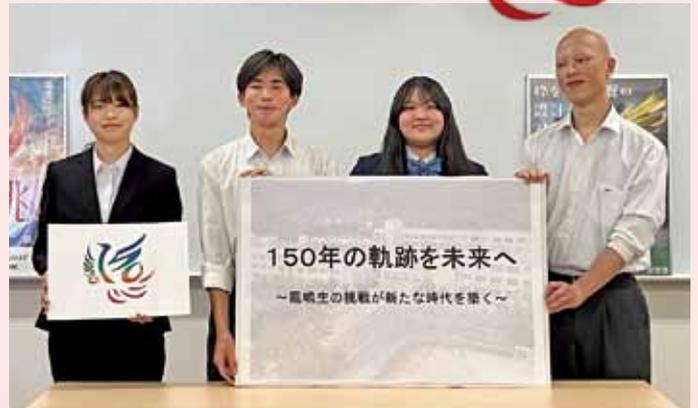
来年創立150周年を迎えるにあたり、生徒からアイデアを募集し、スローガンとロゴマークを作成しました。

スローガンは「150年の軌跡を未来へ～鳳鳴生の挑戦が新たな時代を築く～」。生徒からの応募案を基にして、生徒会が作り上げました。

ロゴマークは、150とHOMEIの文字で鳳凰が羽ばたく姿にデザイン化したものです。考案したのは今春卒業された山内詩織さん(高77回)で、グラフィックデザイナーで兵庫教育大学教授の垣内敬造さん(高32回)がカラー化しバランスを整えて完成させました。

早速、これらを使って横断幕を作成して掲揚することになっています。(写真は掲揚イメージ)

記念式典は来年(令和8年:2026年)11月14日に開



催予定です。基調講演は東京大学卒で元官僚、現在北総鉄道会長の室谷正裕さん(高26回)にお願いしています。



● 創立150周年記念募金 ●

創立150周年記念募金にご協力をお願いします。
同封の郵便局払込取扱票をご使用ください。
1口5,000円からお願いしています。

△横断幕掲揚イメージ
掲示板貼り付けイメージ▶

●私は昭和49年(1974年)卒業なので、今年が「卒業50周年」です。記念の同窓会があるみたいなので楽しみにしています。半世紀が過ぎたとはいえ、高校生時代の事は鮮明に思い出します。運動会に文化祭、それに試験の後のクラス対抗のスポーツ大会。よく学び、よく遊んだ懐かしい思い出です。

高26 井口継綱(大和市)

●♪五月の風

- 1 さわさわさわと風がふく
さわさわさわと風がふく
赤いバラの向うから白いマーガレットの向うから
- 2 さわさわさわと風が吹く
さわさわさわと風が吹く
くみの風鈴ゆらゆらと赤く小さくくれている

高6 旭 重子(東大阪市)

●八十路も半ばを過ぎ、足腰が今一步の領域です。それなりに体力維持に努めています。グラウンドゴルフ、民謡(唄、三味線、尺八)などで活力を出しています。

高7 畑 穰(丹波篠山市)

●最後の同期会 なばなの里へ行って来ました。毎月1回集まっています。

高9 畑美智子(丹波篠山市)

●ご盛会をお祈り致します。

高29 大野道代(城陽市)

●大阪の大学を卒業後、その地で7年間会社勤め。東京転勤時結婚、茅ヶ崎に住んで早や米寿を迎えた。東京での同窓会の話は殆ど高校での先生、クラブ、勉強であったが、今も鮮明に覚えている。高7 畑中正治(茅ヶ崎市)

●篠山を離れて62年、最初は大阪へ3年、それから広島へ約60年。80才になり、今でも篠山城のそばの鳳鳴はその当時の姿が頭の中へ。なつかしい、お堀のまわりを走ったこと…目頭があつくなります。

高14 田中正昭(安芸郡)

●2026年は鳳鳴の150周年になります。私共阪神支部は一早く、6月に第24回大会を開催予定です。これからは鳳鳴として未長く続くことを願っています。

高19 永井哲郎(高槻市)

●高校35回生の諸君へ!! 元気あるかあ?? 「村の渡し」の船頭さん、今年六十のおじいさんで検索してみして下さい。平成3年版法務省「犯罪白書」に飛びます。御興味ある方はどうぞ。高35 本山尚己(丹波篠山市)

●元気に過ごしています。

高15 小林俊治(堺市)

●高5回(昭和28年3月卒業)の近況を知りたいですが…。高5 平野勝男(丹波篠山市)

●いつも鳳鳴高校の同窓会報を楽しみにしております。ありがとうございます。先日初めて阪神支部の大会に参加し、なつかしい友人達と楽しいひと時を過ごすことができました。一堂に会した130名の皆様と校歌を歌った時は、50年経ってもメロディをしっかりと覚えているものだと驚き、感動しました。

高27 松岡(石井)満智子(西宮市)

●同窓会報ありがとうございます。篠山鳳鳴高校の受験希望者の減少が気になります。文教のまちづくりを目指して、思い切った施策を期待します。高8 辻 治郎(宝塚市)

●西宮市立体育館で毎週3回ピンポンをしています。毎日一時間ウオーキングをして少年野球の場内整備、公園内の清掃をしています。高13 明山嘉佑(西宮市)

●早や1年になります。モチロン参加します。昨年14回卒の堀嘉文さんと出逢いました。その方は初めての参加だったんです。阪神支部にも出席していただきました。有意義だったと喜んで下さって。人とのめぐり合わせに卒業67年目にしての出合い、同窓会のおかげとしみじみ感じます。話しをすれば北浜の同じレベルの彼は1階と2階。私は3～5階でした。重なった時期は1年程ですが今年も又彼と逢うことが出来ます。同窓会バンザイです。いつま

でも栄えますように! 高9 西本治美(大阪市)

●教育が一番大切です。その根幹の鳳鳴が歴史ある場所からなぜ郊外に移転したのか。それを許した学校当局、それは同窓会の同意もあったのか。むなしい思いです。

高2 若狭 晃(堺市)

●昭和24年、卓球部全国優勝の12年後に卓球部に入り、夏の合宿でお堀の周りを走りまわりました。あれから、63年。今は夫婦でラージボールでラリーしています。体力は落ちましたが母校の栄光のおかげで技術は向上しているかも。又、近くの児童館の卓球ラウンドで子供から元気をもらっています。

高16 太野垣功(新潟市)

●9月に94才になります。何とか元気で地域のクラブでグラウンドゴルフ、会議、食事会等に出席しております。これも鳳鳴精神のたまものと思っております。鳳鳴高校の益々の発展をお祈り致しております。

高1 川口 聖(西宮市)

●免許証(運転)返納で交通便悪く、(旧市街でも)行く機会が減っています。市内在住の方々に頑張ってもらえることを祈っています。

高13 鈴垣育子(三木市)

●65歳で無事退職に、週2回を警備員で頑張る、後は卓球、テニス、ゴルフと足腰を鍛えています。頭は全然鍛えてません。

高28 小前 勉(吹田市)

●創立150年の歴史ある鳳鳴高校は存続させる努力をしなければなりません!

高26 酒井欣也(芦屋市)

●①同窓会の盛会を祈念します。②NPO法人で活動しています。③1回/月程度故郷に戻っています。高18 佐野由明(守山市)

●今月古希をむかえましたが、仕事は現役で継続中です。参加できないのが残念ですが、皆さんによりよくお伝えください。

高25 神田修一(柏市)

●お城の下で肩を組み「ひびき世に満つ篠山の」と蛮声を張りあげた旧制中学校の卒業生は何人残っているのだろうか。長い伝統を担ってきた一人として、母校の存続・発展を願う。中59 竹内静夫(神戸市)

●鳳鳴の現況にがっかりです! 在りし日の母校はどこへ行ったのか? 匿名

●集いには参加出来ませんが、歳を重ねたせいか、所属していた合唱部のメンバーをなつかしく思います。高28 山口清文(米子市)

●もう十年も前のことになるとは驚きですが、2014(H26)年8月15日、担任であった小村先生も交え、31回生3年7組のクラス会を開催しました。クラス会は卒業以来初めてで、45人中21人の参加がありました。主会場はユニピアささやまででしたが、午前中は、母校の3年7組教室で過ごしました。同窓生の先輩である当時の明山校長先生と奥田教頭先生のお計らいで実現しました。昔いた教室に入るといってはなかなかないことなので、参加者には喜んでもらえました。そろそろ、第2回を考えたいですね。高31 長澤和弥(三田市)

●3年8組の皆さん、お元気ですか。

高16 長尾建夫(西脇市)

●同窓生の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

高5 中村裕子

●加古郡播磨町に住いて50年余になります。途中、茨城県那珂郡東海村に4年住んでいましたが、大半は播磨町に住いております。ここ東播地方に篠山出身の人は少なからず篠山から50kmと近くながら支部もなく淋しい限りです。東播地区に住いの方集まりませんか。

高18 降矢 喬(加古郡)

●卒業して早や50年! 最近は何のことも思い出しては感慨に耽っています。音楽は70年代を毎日聞いています。当日のご盛会を祈念しております。高27 西尾嘉文(丹波篠山市)

●私は今秋で(年末に)米寿になります。我ながらびっくりにですが、何事もなく健やかに暮

らしています。昨年、久しぶりに訪れた篠山で、小学校の「たたずまい」に大変なつかしく、貴重な文化財と嬉しくなりました。お城もお堀も。高7 小泉明子(東京都)

●約10年程、体調が悪く改善方法が今のところ見つからない状態で、日々経過しております。どうぞ皆様におかれましては、体調をくずされませんように。

高36 篠倉元美(北村)(神戸市)

●昭和18年4月入学から6年間御世話になりました。いろんな会合で高校の話になり篠山鳳鳴高校ですと云うと、伝統あるすばらしい名門校ですねと云はれます。誇りに想っております。益々の発展と在校生、OBの皆様方の御活躍を御祈り致します。

高1 川口 聖(西宮市)

●昨年「卒業50年」で同窓会があり、高校生時代にタイムスリップし、楽しい時間をすごさせて頂きました。その10日後に富士山に登るという無謀な冒険もしました。今年4月で70才になりましたが、まだまだ鳳鳴健児、元気でやっております。高26 井口継綱(大和市)

恩師との思い出

●「一期一会」の言葉です。

高7 畑 穰(丹波篠山市)

●数学の波部忠先生に熱意のこもった進路指導を受けながら「御礼」のひとつも述べておらず、大変申し訳なく思っております。

高11 小林康男(千葉市)

●コーラス楽しかったです。(ハットリ)先生にお世話になりました。高9 川西タマ子

●大阪府天王中学校出身で大阪府知事、兵庫県知事の越境入学の許可を頂き、商業科に無事入学させて頂き、卒業時には倉田先生・多波見先生のお進めで、大阪船場の小さな商社を受験し、お陰様で合格しました。1年先輩の片瀬清様が入社を祝って下さいました。初代の労働組合委員長をイヤイヤながらさせて頂きました。全社員を知った事は後に大きな財産となりました。会計課長、人事課長、人事総務部長を拝命し、営業活動は全く経験なしのめずらしいサラリーマン生活でした。素晴らしい会社を推して頂きました上記2名の先生に感謝一杯です。

高10 東尾 薫(山内)(寝屋川市)

●丹波篠山市奥原山に生まれ、当地は中学生として一番山奥で毎日自転車通学し、約20kmあった。特に3学期は3時に起き6本柳まで行き、ようやく友達の顔が見えたものだ。卒業式の前の日に先生に呼び出され「君は遠い所を一日も休まずに通った。今日の職員会議で明日の卒業式に表彰することに決まった。」と云われた。私はとっさに先生に「違います。休まずに通うのは当たり前と違いますが。断ります。」と云ったものだ。後に先生が校長先生になられ「私はあの君のことは生徒に伝えているよ」と云われたものだ。「丹波篠山山家の猿が花のお江戸で芝居する」懐かしい。

中60 奥田 齊(丹波篠山市)

●地歴部の顧問、北村昌幸先生には大変お世話になりました。3年生の研究活動では、多紀郡の道標を調べました。その際、写真撮影や、街道の役割など事細かに助言をいただきました。卒業後も、本郷地区の民俗調査をした際に親身になって協力してもらいました。その先生の蔵書の一部を譲り受け、大切に保管しています。高20 久下隆史(丹波篠山市)

●この夏、高1時の担任、吉川昭吉先生と久しぶりに電話で話しました。人生の節目には必ずご連絡申し上げていますが、当時20代後半の先生は米寿を迎えられても、とてもお元気で安堵しました。高2～3年時の担任、足立章先生は40代でお亡くなりになりましたが、人生の師、恩師はいつまでもお元気でいてほしいと願っています。高21 竹内壽一(横浜市)

学校活動

高80回生

● 春の遠足／鉢伏山登山 ●

令和7年4月18日(金) 於:鉢伏山

時折強風が吹き、さらには残雪があり、少し肌寒いように感じましたが、天候にも恵まれ、無事、鉢伏山に登ることができました。急こう配なところもあり、弱音を吐く生徒も見られましたが、残雪で雪合戦をする場面も見られ、にこやかな登山となりました。下山後は、ロッジ山水館さんにお世話になり、焼き肉を楽しみました。クラスの親睦が深まり、よい年次のスタートとなりました。



高79回生

● 春の遠足／京都散策 ●

令和7年4月18日(金) 於:京都 東山周辺

知恩院をスタート地に、班ごとに食べ歩きや観光を楽しみました！ソフトクリーム屋に長蛇の列が出来るほどの暑さの中、新たなクラスメイトと親睦を深めました。たくさんのお土産・思い出話と共に、大満足の京都遠足となりました！



高78回生

● 春の遠足／Go to USJ ●

令和7年4月18日(金) 於:USJ

天気が良く暑かったけれど、USJは最高でした。みんな、思い思いのアトラクションに乗り、キャラクターの帽子をかぶり、カチューシャをつけ、高校生活最後の遠足を楽しみました。



活動の軌跡

令和6年度の活躍

鳳凰賞 個人の部

- 丸山 響生 第78回国民スポーツ大会 武術太極拳競技 国際第一套路長拳（少年男子） 第1位
第23回近畿ジュニア武術太極拳大会 男子第三套路長拳 三種総合の部 第1位
- 山本 拓馬 第8回近畿高等学校新人水泳競技大会 男子50mバタフライ 第7位
第67回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会 男子50mバタフライ 第3位
第17回兵庫県高等学校冬季水泳大会 男子50mバタフライ 第3位
- 山本 瑛乃 第74回社会を明るくする運動エッセイコンテスト
兵庫県更生保護女性連盟会長賞（丹波篠山市推進委員会 会長賞）
「私ができる社会を明るくする運動」

鳳凰賞 団体の部

- 放送部 第48回兵庫県高等学校総合文化祭 放送文化部門決勝 ラジオ番組小部門ドラマ 銀賞（県3位）

男子バレーボール部

- 丹有地区高等学校総合体育大会 優勝
優秀選手賞 安井 悠真、森田 海里、善明 和
- 丹有地区男子バレーボール部後期リーグ戦 1部1位

ソフトボール部

- 令和6年度丹有・但馬地区高等学校春季ソフトボール大会
優秀選手賞 本橋 小粋
- 令和6年度丹有・但馬地区高等学校夏季ソフトボール大会
優勝
最優秀選手賞 藤森 杏奈

- 丹有・但馬地区高等学校新人ソフトボール大会 優勝
最優秀選手賞 山下 奏乃
優秀選手賞 藤森 杏奈、宇杉 心花

放送部

- 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会予選
朗読部門入選 川田 如珠
- 第48回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門
アナウンス小部門決勝 奨励賞 高畑 花凜
朗読小部門予選 佳作 川田 如珠

令和6年度卒業生進路状況

（令和7年3月卒業）

進路種別			計	合計
進学	4年制大学	国立	10	73(67)
		公立	4	
		私立	59	
	短期大学	公立	0	8(4)
		私立	8	
文部科学省所管外学校			0	0(0)
専修・各種学校	看護・医療	7	23(21)	
	一般	16		
就職	公務員	0	5(5)	
	民間	5		
進学準備	進学	1	1(2)	
	公務員	0		
海外留学（準備）			2	2(0)
その他			1	1(1)
合計			113 (100)	113 (100)

()内は昨年度

主な現役生合格大学（合格者数）

【国公立大学】

大阪大(2) 神戸大(1) 岡山大(2) 香川大(1) 徳島大(1)
鳥取大(1) 島根大(1) 秋田大(1) 兵庫教育大(1)

国立大 計11名

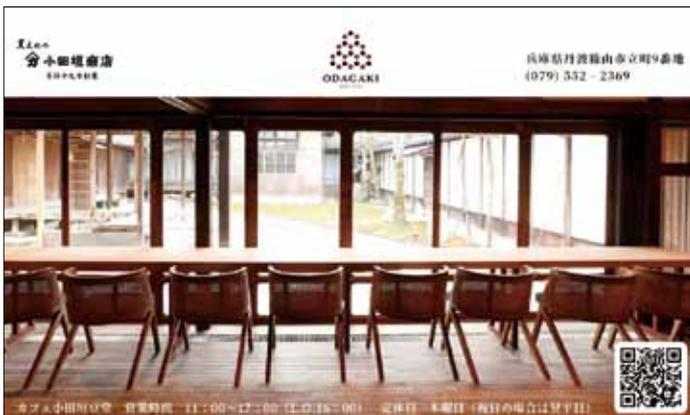
和歌山県立医科大(1) 新見公立大(1) 公立鳥取環境大(1)
下関市立大(1)

公立大 計4名

【私立大学】

関西大(2) 関西学院大(21) 同志社大(5) 立命館大(7)
近畿大(25) 甲南大(4) 龍谷大(17) 摂南大(2)
追手門学院大(24) 神戸学院大(8) 兵庫医科大(2)
桃山学院大(11) 大阪電気通信大(11) 大阪工業大(4)
大阪経済大(6) 武庫川女子大(3) 神戸女学院大(3)
神戸親和(2) 畿央大(10) 大和大(2) 他

私立4年制大 計267名



宝魚園

● 昼膳各種 ● 会席料理
● ふぐ料理 ● ぼたん鍋
● 冠婚葬祭・お座敷・仕出し料理

〒669-2725 舞鶴若狭道 丹南篠山ICより車で5分
兵庫県丹波篠山市川北新田52 JR福知山線 篠山駅より車で7分

TEL 079-593-1341 URL <http://hougyoen.com>

藤木千皓奨学金 を給付

土屋 美織さん



堀内剛二奨学金 を給付

坂本 悠斗さん
團野真一朗さん

私は将来、人がその人自身の居場所を調える手助けをできる職業に就きたいと考えています。そのため大学では教えていただく内容を少しでも多く自分のものにし、それを叶えるための力を付けていきたいです。また、実生活でもコミュニケーション能力を磨き、対話の中で相手が何を求めているかを把握できるようになりたいです。

支えてくださる方々に感謝の気持ちを精一杯伝えつつ、今後も精進していきたいです。

土屋美織

私はこの春、下関市立大学経済学部に進学しました。大学では、経済学に関する幅広い知識を身につけ、その知識に基づいて経済格差問題の解決に向けた方策を考えていきたいと思っています。また、経済はグローバル化が進んでいるため英語の需要が高まっています。そのため、日々の勉強の積み重ねで英語力を向上させ、特に苦手なリスニング能力を高めていくことでグローバル化に対応していきたいと考えています。

最後に、大学にまで通わせてくれた親や支えてくださった方々に感謝しながら、大学生活を充実させたいと思います。

坂本悠斗

この春、大阪大学基礎工学部電子物理科学科に進学しました。大学では、真理を追究する自然科学と生活を豊かにする技術とをバランスよく学び、特に電子と光について、基礎から応用にいたるまで幅広く学びたいと考えています。将来は、情報社会の基盤を支えられるような技術者になりたいと考えています。高校生活の三年間では、先生方や家族に支えてもらい、友達と切磋琢磨し、充実した高校生活を送ることが出来ました。今までお世話になった人に恩返しできるように、大学でも勉学を怠らず、様々なことに挑戦して、精一杯頑張りたいと思います。

團野真一朗

この振込用紙は、丹波篠山市への「ふるさと応援寄付金」用です。
同窓会活動協力金の振込用紙は、別紙で同封していますので、お間違いのないようご注意ください。

(ご注意)

- ・ この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・ この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・ この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・ この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

篠山鳳鳴同窓会の皆様 応援よろしくお願ひします!!

篠山鳳鳴高校同窓会の皆さんには、いつもふるさとのことをあたたかく想っていただきありがとうございます。また、丹波篠山市では同窓会の皆さんが、商工業、観光、農業、福祉、教育など様々な分野でリーダーとしてまちを担っていただいています。

同窓会の皆さんのご活躍のおかげで、今や丹波篠山市はブランドも高まり、美しい城下町、農業、自然や文化など魅力が高まり、人気のまちとなって、観光客や移住希望者も増えています。

この幸せ多きふるさと丹波篠山を、未来に、若い世代に引き継いでいかなければなりません。

皆さんからのふるさと納税は、これからもまちの魅力を高めたり、若い人を呼び戻したり、定着していただくような施策をすすめていくため、大切にに使わせていただきます。

また、本年4月から、大阪・関西万博に合わせ、「丹波篠山国際博 日本の美しい農村、未来へ」を開催しており、日本の農村の星をめざして取り組みを進めます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

同窓会の皆さんの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

丹波篠山市長 酒井 隆明



丹波篠山国際博のイベントとして行われていたプロジェクションマッピング&ライティングショー(4月7日から5月6日まで)

こちらの郵便振り込み用紙をご利用ください

07	大阪	払込取扱票		公	払込料金 加入者負担							
口座記号番号				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0 1 1 3 0 6				9 6 0 2 2 8								
加入者名	丹波篠山市会計管理者			備考								
ご依頼人・通信欄	下記のとおり丹波篠山ふるさと基金に寄付したいので申し込みます。				使途(1から5のどれか一つに○をしてください)							
	フリガナ				1. 豊かな自然環境の保全に関する事業							
	氏名(団体名)				2. 農の都としての農業振興に関する事業							
	(〒 -)				3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業							
住所				4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業								
電話番号				5. その他(市長が使い道を決定します)								
(事業者から直接送付するため、ご寄付いただいた方の住所、氏名、電話番号を) (事業者にお知らせさせていただきます)				鳳鳴				日				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号大第46887号)				附				印				
これより下部には何も記入しないでください。												

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 1 3 0 6	払込料金 加入者負担						
加入者名	丹波篠山市会計管理者							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おとところ(〒 -)							
	おなまえ							
	様							
	[この払込は、ふるさと納税です。]							
備考	日 附 印							
この受領証は、大切に保管してください。								

丹波篠山 ふるさと応援寄付金について



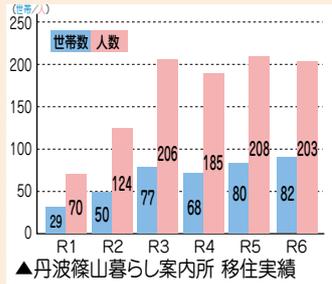
令和6年度のご報告

多くのご協力と応援をありがとうございました。
 昨年度の寄付金額合計 **531,414,781円**、寄付件数 **30,515件**
 令和6年度、寄付は下記の事業に活用しました。(抜粋)

● 農の都としての農業振興に関する事業

ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業 (事業費：37,362,940円)

「丹波篠山暮らし案内所」を開設し、移住や空き家の相談を受け付けています。その取り組みの成果として移住者数は着実に増加しています。



▲移住されたご家族

● 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業

保健体育総務費 (事業費：20,967,224円)

プロバスケットボールチームのスポーツ教室を開催するなど将来を担う子どもたちに「夢と希望」を与える取り組みをしています。



▲神戸ストークスとのバスケ教室

● その他、丹波篠山市の発展のために使わせていただいております。

令和7年度の取り組み

丹波篠山ブランドの特産品を一人でも多くの方に手にとってもらえるよう、丹波篠山の魅力が詰まった農産品、加工品等、返礼品ラインナップの充実を進めています。

今後も魅力的な返礼品を揃え、ふるさと納税を通じて丹波篠山の魅力を伝えていきます。



人気のジャムや、丹波焼、新たに返礼品に追加されたモンブラン

丹波篠山市のふるさと納税の仕方

- 1、窓口：直接窓口(丹波篠山市役所 創造都市課)で寄付
- 2、郵便振替：専用の払込用紙(本会報P14)で、最寄りのゆうちょ銀行から振り込み。入金確認後、返礼品申込書とカタログを送付。
- 3、インターネット：下記ふるさと納税ポータルサイトから寄付



関係人口 丹波篠山ふるさと応援団を募集しています!

丹波篠山ふるさと応援団は、人手不足などの課題を抱えながらも頑張る地域を応援したい方に登録していただける制度です。登録していただいた応援団員の皆さんに地域とつながるきっかけや地域の情報を提供します。



応援団のご登録はこちらから
 ◀丹波篠山つながり案内所 QRコード

問い合わせ先 丹波篠山市役所 企画総務部 創造都市課

TEL : 079-552-5796/FAX:079-552-5665 メール : furusato_div@city.sasayama.hyogo.jp

第17回 鳳鳴のつどいのご案内

■日 時：令和7年11月9日(日) 受付 午前11:00 開会 午前11:30

■会 費：7,000円 ■会 場：ユニトピアささやま

丹波篠山市矢代231-1 TEL(079)552-5222

今年が高40回生(昭和63年卒業生)が担当して、楽しいイベントを開催します。

まずは申し込みを(9月30日締切) 同封のハガキで参加のお申し込みをお願いいたします。
お申し込みいただいた同窓会員様には、後日詳しいご案内を差し上げます。

お知らせ

令和7年度同窓会、クラス会予定

- 高48回 R8年 1月 2日 **卒業30年の集い**
(平成8年卒業生) 代表幹事 榊原洋介
- 高43回 R8年 1月 3日
(平成3年卒業生)
- 高76回 R8年 1月10日 **20歳のお祝い同窓会**
(令和6年卒業生)
- 高36回 R8年 2月予定 **卒業42th Anniversary**
(昭和59年卒業生)

場所は、いずれもユニトピアささやま

同窓会事務局からのお知らせ

お一人
2,000円

活動協力金ご協賛のお願い

会員の皆さんと同窓会を結ぶ会報は、この活動協力金によって発行されています。同窓会活動協力金のご協賛について、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

同窓会活動協力金はお一人2,000円とし、同封振込用紙にて郵便局又は、コンビニ、スマートフォンアプリよりお願いいたします。なお、振込手数料は不要です。

令和6年度協力金(令和7年5月31日現在)

1,261件 5,121,551円(振込手数料除)

なお、ご協賛いただいた皆様のお名前を、次回発行の本紙に掲載する予定です。

会員の皆様からの多額の協力金に深く感謝申し上げます。引き続き今年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

原稿募集

同封の「きずなはがき」、郵送、ファックス、ホームページ(<https://homei-doso.org>)などで、原稿をお寄せください。お名前、住所、卒業回生、連絡先をお忘れなくお願いいたします。

なお、紙面の都合上、掲載できない場合もございます。

同窓会事務局は下記の曜日・時間事務員が在室しています

月・水・金 AM10:00~12:00
PM 1:00~ 3:00

みな様からのお便りをお待ちしています! 留守の場合は留守番電話に伝言をお願いします。

TEL/FAX 079-554-2533

〒669-2318 丹波篠山市大熊369
篠山鳳鳴同窓会事務局



編集後記

まだまだ先だと思っていた創立150周年が、いよいよ来年開催となりました。

今年3月に決定したスローガン「150年の軌跡を未来へ～鳳鳴生の挑戦が新たな時代を築く～」と記念のロゴマークが5月下旬に発表されました。

篠山鳳鳴高校は、県内で最も古く歴史のある学校として知られています。

伝統や文化の大きさを感じながら、新たなことにチャレンジしている鳳鳴高校の良さを広く伝える素晴らしい内容に、生徒の皆さんの母校を大切に、先輩方の思いを受け継いでいくという熱い思いを感じ頼もしく思います。

長い歴史の中で、それぞれ鳳鳴で学んだ時代背景は異なりますが、思春期の多感な時期に様々な地域から集まった仲間と将来を語り合い、共に学び、たくさんの思い出ができたこと、かけがえのない時間を過ごせたことは、時代が変わっても同じだと思います。

鳳鳴を大切に思うみんなで、素晴らしい150周年を迎えることができるよう前進していきたいです。

暑い日が続いています。ご自愛いただき、皆様のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

谷掛晴子(高38回)

プロフェッショナルな撮影で 地域の皆様それぞれの歴史を語り継ぐお手伝いをさせていただきます



写真の創虹社 創虹社 編集部
http://www.soukousha.net
お問い合わせ 079-590-2211 兵庫県丹波篠山市吹新 1-1

印刷
のことならなんでも
おまかせください




総合印刷 株式会社プリテック
TEL 079-552-0261 〒669-2333 兵庫県丹波篠山市南新町67-1
FAX 079-552-2484 https://www.pritec.net info@pritec.net